

「新年 おめでとう」

2016年01月04日

新年、おめでとうございます。この年の、あなたの歩みの上に主イエスの恵みと祝福を祈ります。今年もよろしく願いいたします。

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし／槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず／もはや戦うことを学ばない。

(イザヤ書2章4節)

隆雄 壊れいくような日本の姿に暗澹とさせられます。安保関連法は強行採決されましたが、平和を願って、追いかけていきたいと思っています。新しい仲間が与えられたことを喜び、感謝しています。与えられた自由な時を楽しく用いたいと思っています。

悦子 専業主婦2年生。料理、掃除など頑張っています。昨年、念願のイスラエル旅行、生まれ故郷・北海道のドライブ旅行、日本ジャーナリスト会議「沖縄平和の旅」に参加し充実した時が与えられました。今年も飛躍を願い、羽を伸ばしたいと思っています。

2016年元旦

秋吉隆雄・悦子

今年の私たち夫婦の年賀状である。横浜港南台教会の牧師を隠退して、2年になる。多忙な生活から解放された日々を過ごしている。余裕の持てる生活は始めてで、好きな本を読み、気に入ったテレビを見て楽しんでいる。

妻と二人で、北海道の知床から函館まで、8日間かけて、横断したドライブ旅行は楽しかった。九州の田や畑の多い田舎で育った私には、北海道は原野が続き広大で、自然は手つかずで美しく、食べ物も新鮮で美味しかった。

日本ジャーナリスト会議の全国集会「沖縄平和の旅」が行われると聞き、沖縄のジャーナリスト関係者の話が聞きたくて、参加した。期待通り、ジャーナリストたちと基地建設阻止の座り込みをしている人々の声を聞くことができた。諸々の選挙で、辺野古新基地反対の民意を示すことができたことに誇りと自信を表していた。その反面、沖縄の声が本土に届かない苦悩を訴えていた。民主主義を否定する安倍政権の強引なやり方に強い憤りを持つ。これから、沖縄は正念場を迎える。支援の輪を広げていきたい。

ホームページで楽しみながら、私の「信仰告白」を書いている。聖書は読む度に、新しい発見があり、改めて、聖書の奥深さを知らされる。折々の感想も書いているが、その殆どが、時代の暗さを嘆くものばかりで、明るいニュースがほしいものである。

また、憲法を守ろうとする「九条の会」や「反原発」の市民運動に加わり、牧師の時にできなかったことに励んでいる。駅前でチラシを配り、街宣スピーチをする。集会を企画し、実行する。盛会の時は仲間たちで喜び合う。皆、献身的に働き、心優しい人々である。「平和、平和というだけではダメだ。苦難にある人々に真に寄り添うことだ」と言われ、何と福音的な人々であるかと嬉しくなる。安保関連法は国会で強行採決されたが、廃案に向け、今から始めるのだと、活動は止むことなく続けられている。

新しい2016年、高齢で動けなくなる前に、色々なことに興味を持ち、貪欲に見聞を広げたいと思っている。この年、日本も世界も希望の持てる明るい年になるとは思えない。人々の心が荒廃し、他者否定の風潮は広がり、暴虐は横行するだろう。「共に生きよ」と命の尊厳を明示された主イエスの福音を信じ従い、言うべきことを言い、やるべきことをする悔いのない年を送りたい。キリスト教は執念深い信仰である。諦めず、希望をもって、笑顔で過ごしたいと願っている。